

宇都宮市 技術職(化学職) キャリアパス

本資料について

技術職の専門的な業務や必要な資格等を分類・体系化し、どのような経験を積んで成長していくことが望ましいかを組織及び職員個人が認識を共有し、職員個人の能力開発や人材育成などのマネジメントのツールとして作成している

【内容】

1 行政職共通キャリアパス

【参考】基本研修（行政職共通）

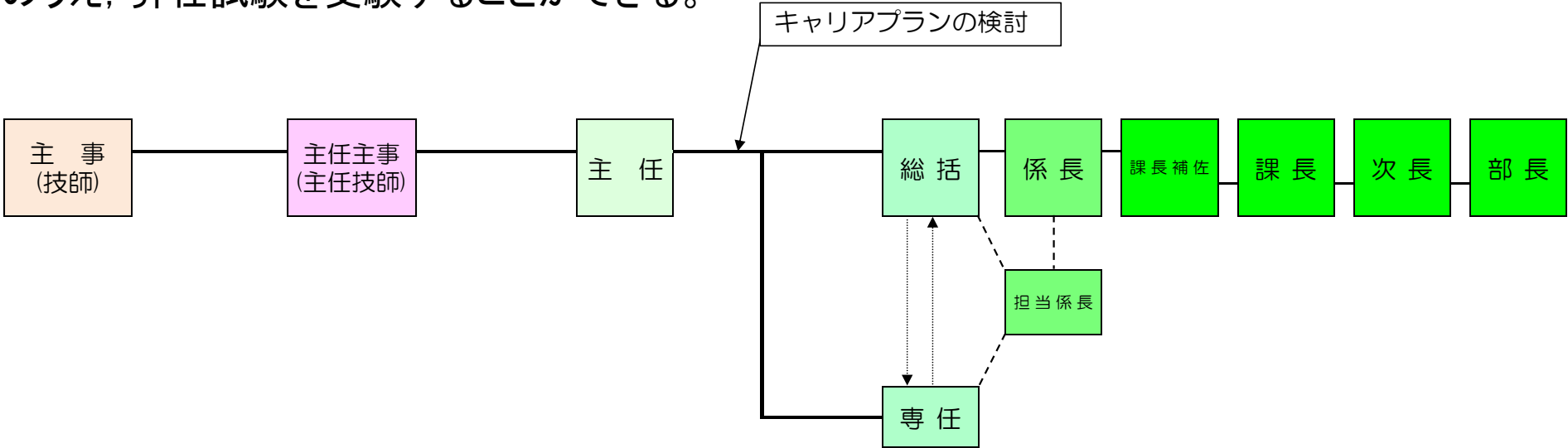
2 技術職員キャリアパス（化学）

※ 「行政職」とは、一般行政（事務）、技術職、資格職を指します。

技能労務職（学校調理業務や道路等の維持管理業務などの業務に直接従事する職種）や消防職は含みません。

1 行政職共通キャリアパス

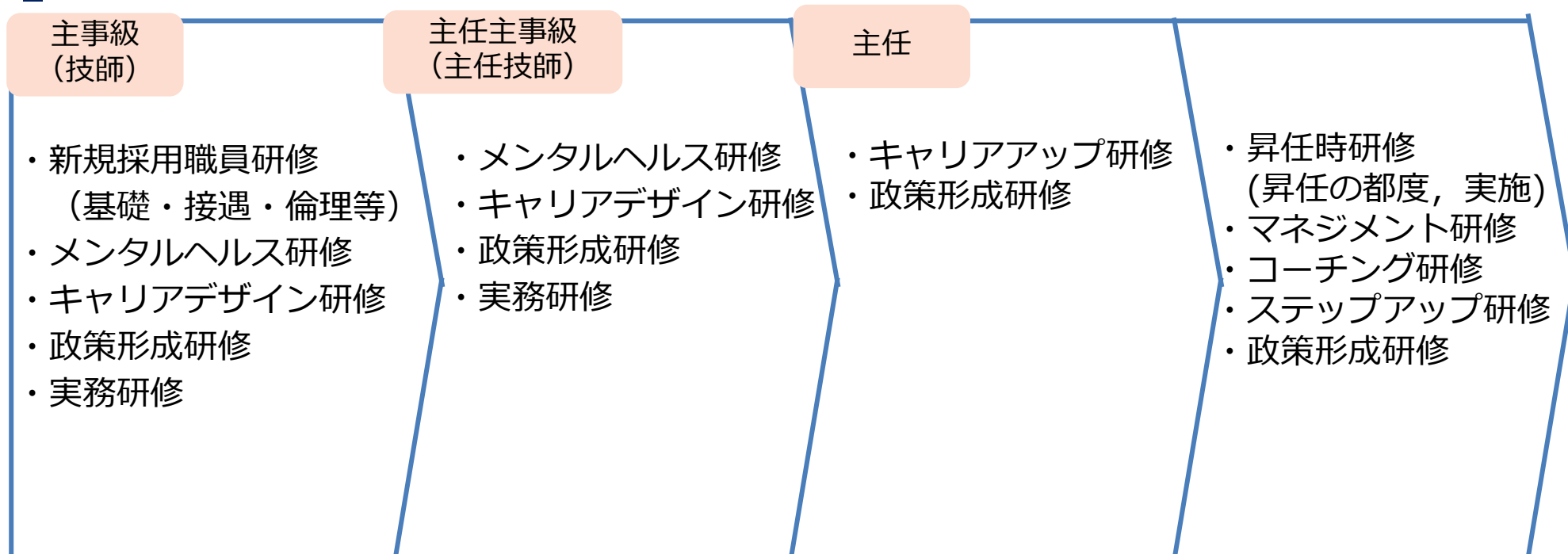
総括・専任までは、すべて昇任試験を行う。
主任到達後は、ジェネラリストである「総括」か、特定分野のスペシャリストである「専任」を選択のうえ、昇任試験を受験することができる。



それぞれの職位に応じた、「自律・協働・共創型職員」を目指していく。				
能力育成期	能力開発期	能力発揮期		
ジョブローテーションにより多様な経験をさせ、行政の基礎的知識や基礎的能力を習得させる。	適性や能力に応じた配置を行うとともに、複雑な業務を担当させ、高度な行政事務能力を習得させる。	一般職としては、完成した能力を保有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。	一般職としては、完成した能力を有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。	適性業務や希望業務で、最大限に能力を発揮する。
			【高年齢職員（60歳以降）】 上記に加え、これまで培った豊富な知識、技術、経験等を最大限活用するとともに、次の世代にその知識、技術、経験等を継承する。	

【参考】 基本研修(行政職共通)

職位ごとの主な研修



その他職員の成長を支援する取組み

●派遣研修

高度な専門知識等の習得や視野拡大のため, 海外や自治大学校, 省庁等へ派遣

●自己研修支援

オンラインによる学習や資格取得(一級建築士)など, 個人の能力開発を積極的に支援

●その他の研修

市役所で仕事をする上で必要になるための能力を身に付けるための研修

※DX研修や情報セキュリティ研修, クレーム対応力強化研修 等

2 技術職員キャリアパス

キャリアパスの見方について

①行政職全般の職位ごとの能力開発の考え方を掲載しています。

②各業務分野を経験するにあたり望ましい流れの一例を示しています。

この「流れ」について『正解』はなく、個々の知識や経験、適性など様々な要因を踏まえ、上司や先輩の意見を聞き、自身でも考えることが大切です。

③各職種の業務を分野として大別したのになります。



2 技術職員キャリアパス(化学職)

化学職	能力育成期（主事級） 19歳～29歳	能力開発期（主任主事級） 30歳～35歳	能力発揮期（主任級） 36歳～
職位ごとの能力開発の考え方	ジョブローテーションにより多様な経験をさせ、行政の基礎的知識や基礎的能力を習得させる。	適性や能力に応じた配置を行うとともに、複雑な業務を担当させ、高度な行政事務能力を習得させる。	一般職としては、完成した能力を保有し、高度かつ困難な業務を自主的かつ主導的に行う。
	※ 少なくとも「審査・指導系」、「分析系」または「維持管理系」の2つを経験することが望ましい。 審査・指導系 ・ 法令に基づく規制業務，指導業務，許認可業務 (水質汚濁防止法や廃棄物処理法，下水道法，生活衛生関係法令などに基づく審査・指導など) 分析系 ・ 水質検査業務，環境測定業務 (水道水や工場排水の水質検査，土壌検査，臭気測定，騒音測定など) 維持管理系 ・ 施設の維持管理業務 (一般廃棄物処理施設や上下水道関連施設などの維持管理など) 計画系 ・ 資源循環利用の促進，施設の最適化計画などの策定・改定・進行管理業務 (一般廃棄物処理計画，生活排水施設最適化計画など) ※ 「維持管理系」「計画系」は「審査指導系」「分析系」を経験することが望ましい。 ＜検討・選択＞ 【総括】 各系統を広くカバー 【専任】 ・ 分析系 ※ 令和8年度時点で，専任は上記系統へ配置されていますが，特定分野への固定配置を約束するものではありません。		
能力開発等に有効な資格例	技術士，技術士(補)，環境計量士 等		